

# SHIMANTO | 4

四万十町通信 2026.VOL.241

APRIL

窪川地域



合併20周年  
記念特集

大正地域



「川でつながり、電波で結ばれた、私たちの20年」

十和地域



三つの景色、一つの流れに



# 三つの景色、一つの流れに

## く川でつながり、電波で結ばれた、私たちの20年

平成18年3月、三町村の合併により誕生した四万十町。県内最大の面積ゆえ、当時「役場が遠くなる」「声が届かなくなるのでは」という戸惑いの声も。物理的な距離が生む不安の中の始まりでした。それから20年、距離を超え、私たちをつないでくれたのは四万十川の流れと各家庭を結ぶケーブル放送、そして祭事やイベントを通じた地域間の交流でした。地域ごとの個性を尊重し、支え合ってきた20年。なじみゆく月日を経て、確かな安心感を胸に、私たちは一つの町として新たな一歩を踏み出します。



## 数字で見る、私たちの町

**水道管の総延長** 約 **540** km  
(四万十町から神奈川県横浜市の手前まで届く長さ)

**CATV** ケーブルテレビの光ファイバー網の総延長 約 **560** km  
(四万十町から東京都庁まで届く長さ)

**四万十消防団 団員数** **326** 人  
(いざという時、頼りになる地域の力)

**合併後に町内で誕生した命** **1,704** 人  
(20年間で増えた赤ちゃんの数)

### 「知らない場所」が「身近な風景」へ

合併前、隣り合う別の町村だった三地域。形は一つになっても、当初は互いの暮らしがよりや雰囲気まではつかみきれずにいました。そんな心の距離を埋めたのが、合併3年後に開局したケーブル放送です。家庭にいながら他地域の日常を知ること、知らない場所が「身近な風景」に変わり、心の境界が広がっていききました。

そして、新町を盛り上げたいと始まった「四万十町よさこい踊り子隊四万夢多」や「四万十川桜マラソン」。地域を超え町民が一丸となり楽しむ姿は、今ではこの町の「当たり前」の風景です。

令和 8 2026	令和 7 2025	令和 6 2024	令和 5 2023	令和 4 2022	令和 3 2021	令和 2 2020	令和 1 2019	平成 30 2018	平成 29 2017	平成 28 2016	平成 27 2015	平成 26 2014	平成 25 2013	平成 24 2012	平成 23 2011	平成 22 2010	平成 21 2009	平成 20 2008	平成 19 2007	平成 18 2006
--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

- 平成18年3月20日 四万十町誕生
  - 4月 初代町長に前田哲生氏が当選
  - 3月 四万十町誕生1周年記念式典
  - 3月 広井小学校校舎
  - 7月 道の駅四万十とおわオープン
  - 10月 高梁市・山鹿市と友好都市提携
- 3月 四万十清流消防署西分署落成
- 2月 四万十川流域国の重要文化的景観に選定
- 4月 第1回四万十川桜マラソン開催
- 4月 町内全小中学校で給食スタート
- 5月 四万十ケーブルテレビ開局
- 8月 大正中学校ソフトボール部全国制覇
- 9月 旧都築邸復元竣工
- 2月 興津保育所デイサービスセンターさくら貝落成
- 4月 クラインガルテン四万十開村
- 4月 二代目町長に高瀬満伸氏が当選
- 3月 志和小学校・若井川小学校・家地川小学校校閉校
- 7月 海洋堂ホビー館四万十オープン
- 12月 四万十清流消防署庁舎・窪川分団屯所落成
- 3月 ひかり保育所落成
- 3月 丸山小学校・口神ノ川小学校校閉校
- 4月 韓国高敞郡と友好交流協定締結
- 6月 大正中学校新校舎プール落成
- 12月 高知自動車道が四万十町まで開通
- 3月 大奈路小学校閉校
- 4月 十和地域振興局
- 3月 十和地域センターとおわ落成
- 8月 四万十町よさこい踊り子隊四万夢多結成
- 11月 友好都市と災害時相互応援に関する協定締結
- 3月 認定こども園たのの新園舎落成
- 3月 大正地域振興局庁舎耐震改修工事完成
- 4月 四万十町役場本庁舎落成
- 4月 高知県立農業担い手育成センター開所
- 4月 汚泥再生処理施設若井グリーンセンター落成
- 4月 三代目町長に中尾博憲氏が当選
- 8月 町立図書館大正分館開館
- 8月 台風11号。2,539世帯が断水
- 3月 昭和中学校閉校
- 4月 NCC四万十コールセンター本格稼働
- 8月 窪川中学校ソフトボール部全国制覇
- 3月 四万十町合併10周年記念式典
- 5月 本堂地区に次世代施設園芸団地落成
- 11月 町営塾じゆうく。開塾
- 11月 地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰
- 4月 中尾町長2期目就任
- 6月 四万十町東京オフィス開設
- 7月 西日本豪雨。友好都市などへ職員派遣
- 11月 金上野地区と黒潮町を結ぶ片坂バイパス開通
- 10月 台風19号。興津浦分漁港の防波堤欠損・灯台損失
- 4月 新型コロナウイルス対策本部を設置。事業所へ休業要請
- 6月 四万十川ジップラインオープン
- 1月 小鳩保育所新園舎落成
- 3月 興津中学校閉校
- 4月 東京五輪聖火リレーが窪川市街地を継走
- 4月 興津出張所落成
- 9月 台風14号。志和地区中心に48世帯が浸水被害
- 3月 北ノ川中学校閉校
- 4月 中尾町長3期目就任
- 4月 四万十町ワーキングスペース開所
- 1月 成年年齢の引き下げで成人式が二十歳の集いへ
- 4月 軽トラ型移動図書館巡回貸出サービス開始
- 1月 能登半島地震。輪島市へ職員派遣
- 1月 興津小学校ぼっさい甲子園大賞
- 3月 JRR予土線全線開通50周年
- 3月 興津小学校閉校
- 3月 文化的施設整備事業中止
- 3月 昭和小学校閉校
- 4月 十和小学校・十和中学校へ校名変更
- 3月 川口小学校閉校
- 3月 見付保育所閉所
- 3月 四万十町合併20周年記念式典



会場を華やかに彩る「四万夢多」の演舞

受け継がれる伝統「幡多神楽」の舞

厳かな空気に包まれた式典会場



20年の歩みを振り返る中尾町長

※「町民表彰」の詳細は、次ページの「まちの話題」にてご紹介します。

令和8年3月20日、窪川四万十会館で「合併20周年記念式典」が開催されました。当日は町民や来賓など約250名が出席し、節目を祝う祝祭は盛大に挙行されました。

式辞の中で中尾町長は「豊かな自然環境の中、窪川地域、大正地域、十和地域のそれぞれの良さを活かし、元気なまちづくりに努める」と、次代へ続く町の発展への願いを託しました。

会場では、これまでの町政の歩みを振り返る映像が上映され、幡多神楽や四万十町よさこい踊り子隊四万夢多による躍動感あふれる演舞も披露されました。

また、長きにわたり町の発展に尽力された方々への表彰も行われ、会場は祝福の拍手に包まれました。

旧町村時代を知る人も、合併後に生まれた若き世代も、見つめる未来は一つです。この町で育んだ絆を誇りに、次なる20年に向け、「志」を一つに新たな歩みが始まります。

## 二十年の節目、感謝と祝福の式典



信頼を映像に刻む  
地域キヤスター

山下 翼さん (金上野)

### 「伝える」ことが、一つの町を創る

入社1年目から広大な町を駆け巡ってきました。地道な対話は信頼に変わり、取材先でいただく本音が今の私を支えています。

番組がきっかけで、ご家庭や離れて暮らす祖父母との間に温かな会話が生まれる瞬間が何よりの喜びです。

各地の映像を届けることで、遠くの地域も「同じ町」と感じてほしい。町の歩みを映像に刻む使命を胸に、これからも地域の魅力を伝え続けます。



共に歩んだ  
仲間感謝する元町長

高瀬 満伸さん (小野)

### 調整に尽くした8年、感謝を胸に

初代助役と二代目町長を務めた8年間で、合併協定の約束を果たす責任を背負い、地域性の異なる3地域の調整に奔走しました。新庁舎建設など困難な局面も、行政関係者や地域の皆さん、職員の協力があつたからこそ乗り越えられたと心から感謝しています。

山と川に「海」が加わったこの町は、大きな可能性を秘めたどこにも負けない地域。次代を担う方々が、理想の町をつくることを願っています。



若者たちをつないだ  
「四万夢多」の大旗振り

中越 雅夫さん (下呉地)

### 交流が生む財産、地域の笑顔が次代へ

合併後、3地域の若者たちが交流しないのはもったいないと『四万夢多』を結成しました。初めて会った若者たちが意気投合し、共に町を盛り上げようと決めた時の喜びは今も覚えています。世代や出身を超えて「人を知る」ことは人生を広げる財産。

地域の笑顔が、何よりの原動力です。その演舞に惹かれた人がまた新たな仲間となり、次代へつながっていくと信じています。

## 「ひと」が創る、この町の20年。

## 美しき個性が、町を創る。

合併とは形を創ることではなく、日常の中で互いを知り、心の境界を広げていく歩みです。各地域が育んできた大切な個性は、この町の誇りそのもの。

激動の時代をつないだ方々への敬意を胸に、私たちはこの夜明けの美しい風景と共に、新しい時代へ一歩ずつ進んでいきます。



生活の一部に  
ケーブルテレビがある視聴者

住吉 福美さん (大正)

### 更新日が待ち遠しい、120%の楽しみ

開局時から生活に欠かせない存在です。郷土資料館の仕事柄、ここでの活動を発信してもらう機会も多く、放送を見た方が声を掛けてくれることがうれしくて。

普段、よその地区へ行くことはありませんが、画面越しに「今年もあそこに花が咲いた」と季節を感じ、町の今を知っています。

更新日を待つ時間が、日々の楽しみです。



住民に育てられた  
町の保健師

中村 晶子さん (琴平町)

### 人生ドラマに触れ、築いた20年

合併翌年に保健師として採用され、町内各地のお宅を訪ねてきました。当初は地元出身でない苦労もありましたが、時間をかけ信頼を築く中で、今では家族に言えない悩みも打ち明けていただけます。訪問先で何う人生ドラマが私を育ててくれました。

地域の個性を尊重しながら歩む姿もこの町の魅力。住民の皆さんに育てられた恩返しを胸に、これからも一人一人の人生に寄り添い続けます。



地域の食を磨く、  
移住24年目の営業部長

福家 和孝さん (大正)

### この町の資源は、単独で戦える

妻の故郷である旧大正町へ県外から移住し、未経験で食材の加工販売会社に飛び込んだ私を、町の人々は温かく支えてくれました。その後、合併したこの町は、山・川・海の幸がそろう宝庫。単独で食フェアを開ける魅力は、どこにも引けを取らない強みです。

受けた恩を返すため、地元の資源を磨き、町外へ発信して地域を盛り上げたい。同世代の仲間と共に、これからもこの町で挑戦し続けます。

お問い合わせ先 / 企画課 22-3124



勢いよくスタートした「小学4・5・6年男子の部」

## ロードレース大会で町内小学生が男女優勝！

「第62回四万十町窪川ロードレース大会」が2月1日に松葉川地区で開催されました。

この大会は小学4年生以上の部から壮年の部までの11部門で競われる大会です。

当日は高知県内から94名のランナーが集結し、日ごろの練習の成果を発揮した走り、四万十川沿いを駆け抜けました。

小学生の部では男女ともに町内児童が優勝したほか、他の部門においても町内選手が上位入賞を果たした大会となりました。

大会結果は次のとおりです。(敬称略)

【各部門1位】	氏名	所属	学年	記録	氏名	所属	学年/年齢	記録
小学4・5・6年男子の部2km	武田悠之介	窪川JRC	6	07分43秒	高校男子の部10km	山本 聖也	高知農業高校	3 30分37秒(大会最高記録)
小学4・5・6年女子の部2km	谷脇 愛菜	窪川JRC	4	08分51秒	高校女子の部5km	東野 寧音	山田高等学校	1 17分32秒
中学1年男子の部3km	渡辺 琉羽	旭中学校	1	10分25秒	一般男子の部10km	濱口 純平	ミロク陸上クラブ	20 31分59秒
中学女子の部3km	南 一花	香長中学校	3	11分13秒	一般女子の部5km	宮本英美佳	ペルラップ&YY7	39 20分30秒
中学2・3年男子の部3km	上岡 輔来	春野中学校	2	09分45秒	壮年男子の部5km	遠藤 紀元	遠 走 会	52 18分49秒
					壮年女子の部5km	遠藤 真知	遠 走 会	53 29分04秒



子ども会(男子の部)優勝「窪川元気120%」の皆さん



子ども会(女子の部)優勝「なめくじ東又」の皆さん



勤労者の部 優勝「チームKOSOREN」の皆さん

## 四万十町駅伝で子どもも大人も1.8km力走

「四万十町(第42回子ども会・第19回勤労者)駅伝大会」が2月22日に東又地区で開催されました。今年子ども会15チーム(78名)、勤労者15チーム(88名)が参加し、沿道からの多くの声援を受けながら懸命にタスキをつなぎました。

大会結果は次のとおりです。(敬称略)

### 【男子の部】

	No	チーム名	氏名	記録
各区間1位	第1区	5 Allez(アレ)七里	藤田 碧音	06分50秒
	第2区	1 窪川元気120%	宮地 蒼天	07分01秒
	第3区	3 仁井田スピードビースト	石田 彩翔	06分53秒
	第4区	1 窪川元気120%	吉村 天馬	06分54秒
	第5区	11 米奥で滅!!	武田悠之介	06分52秒

### 【女子の部】

	No	チーム名	氏名	記録
各区間1位	第1区	11 米奥で滅!!	田村 環奈	07分17秒
	第2区	31 窪川2連覇説	谷脇 愛菜	07分35秒(区間最高記録)
	第3区	33 なめくじ東又	川崎 桃子	07分28秒
	第4区	7 lien(リアン)七里	安岡 杏	07分28秒
	第5区	31 窪川2連覇説	友永 鈴奈	08分00秒

### 【勤労者の部】

	No	チーム名	氏名	記録
各区間1位	第1区	58 ひらのや Aロード	田井 翼	05分47秒
	第2区	56 チームKOSOREN	嶋岡 正人	06分21秒
	第3区	53 アクトワンらんなくず	武田 将英	06分42秒
	第4区	51 四銀・警察・病院A	川村 和人	06分45秒
	第5区	56 チームKOSOREN	常石 翔太	06分16秒



郷土の発展を支えた方々へ、町民表彰を授与

### ■町民表彰

① 町民の模範となるべき善行のあったもの  
小野川 益基

② 産業の発展に尽くしたものの  
太田 祥一、故 竹内 純、林 幸一、広井茶生産組合、佐々木 通、宗海 弘

③ 教育または文化の振興に寄与したものの  
読み聞かせボランティア「本のちよっとのあ・い・だ」、佐々木 勇三、八木 敏伸、故 八木 雅昭、武吉 東、田邊 富男、森野 幸世、故 高垣 恵一、故 山本 哲資、池田 光代、林 一将、牧野 秀男、伊賀 三由紀

④ 社会福祉の増進に尽くしたものの  
秋田 やよい、岡部 勤、小野 重明、井上 義之、國元 豊美、國枝 ちづ子、ボランティアグループ支えの会、佐藤 恵司、下元 千司、田井 哲雄、田邊 智恵子、田邊 千尋、田井 まさ子、武内 康明、四万十町交通安全母の会、谷口 余志子、戸田 多喜子、中越 清年、中嶋 敏親、中平 美知子、林 忠義、東 愛子、百代 一士、古谷 都夫、正岡 敏子、村瀬 泰幸、古谷 由利子、松下 陽子、壬生 直徳、山本 美知代、味元 和義

⑤ 公共のことに尽くし、または公務を助力したものの  
伊賀 紀三郎、伊藤 哲郎、大黒 健男、大前 達也、岡本 建夫、黒岩 浩史、小島 啓良、佐々木 汀、芝 保、竹添 正勝、武田 章雄、長谷部 文男、竹村 精史、谷脇 健司、利岡 守、中平 昭一、那須 大輔、西村 隆、西村 紀夫、西村 方博、藤田 俊宏、牧野 幸子、森山 龍生

⑥ 本町の公益のため200万円以上の金品を寄附したものの  
宗崎 幸子

⑦ 特別表彰  
橋本 章一

### ■名誉町民表彰

町民以外のもので、町の政治、産業その他の面に特に功勞のあった者  
故 宮脇 修、株式会社中脇組、株式会社大塚商会

### ■感謝状贈呈

公益財団法人地域みらい財団



充電設備の前で中尾町長へ目録を手渡した豊永部長(右)

## 四国電力株からEV充電器寄贈

四国電力株式会社高知支店より地域貢献活動の一環として、公用車用EV(電気自動車)充電器を寄贈いただきました。

寄贈いただいた充電器は、充電設備が未整備だった十和地域振興局に設置しました。2月2日には高知支店地域共担当部長、豊永清広さんが現地を訪れ、供用を開始しました。

現在、町では4台のEV公用車を稼働しており、充電環境が整ったことでより効率的な運用が可能となります。

今後も環境負荷の少ないEV公用車を最大限活用し、持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。



緊張の面持ちでスタートの合図を待つ一区のランナー

## 「四万十川駅伝」小学生から大人まで快走

「第43回四万十川駅伝大会」が2月1日に大正地域で開催され、19チーム約130名のランナーが6区間(12.5km)を力走し、懸命にタスキをつなぎました。ゴール会場では地元のボランティアグループが作った豚汁とおにぎりも振る舞われました。大会結果は次のとおりです。

各部門1位	小学校男子の部	北ノ川小チームA	1時間00分57秒
	小学校女子の部	田野々小学校リバー	1時間02分09秒
	中学・高校男子の部	四万十高校	52分46秒
	一般男子の部	やっちゃん駅伝部	51分16秒

4月1日から町の組織機構が一部変わります

お知らせ

四万十町では、これまで社会情勢に応じた施策の推進を図るため、四万十川の清流保全などに関わる業務については「四万十川振興室」、町産品の外商促進などの業務については「地産外商室」、町の次世代を担う人材を育成する業務については「人材育成推進センター」を設置し、それぞれの取り組みを進めてきました。

そんな中、町では行政運営の効率化を図り、多様化する行政課題に迅速かつ柔軟に対応するため、4月1日から組織機構の一部を次のとおり改編します。

「四万十川振興室」「地産外商室」「人材育成推進センター」は廃止となりますが、それぞれの業務は各担当部署に引き継がれます。

ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

四万十川振興室	四万十川の総合対策など、清流保全に関する業務	➡ 環境水道課
	漁業振興に関する業務	➡ 農林水産課
	電源施設の水利権などに関する業務	➡ 企画課
地産外商室	地産地消、地産外商、ふるさと納税などに関する業務	➡ にぎわい創出課
人材育成推進センター	高校振興、町営塾に関する業務	➡ 学校教育課
	起業支援に関する業務	➡ にぎわい創出課
	大学との連携窓口	➡ 企画課

お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124

意見公募の結果を公表します

お知らせ

「四万十町人権尊重のまちづくり条例」が3月16日に施行されました。

条例制定にあたり実施した意見公募の結果を公表します。詳細は四万十町ホームページでご確認ください。貴重なご意見をありがとうございました。

- 募集案件 「四万十町人権尊重のまちづくり条例(案)」
- 募集期間 1月13日～2月3日
- 意見数 3件



四万十町HP

お問い合わせ先 町民課 ☎22-3117

住民税に関する不審なメールに注意!

お知らせ

最近、「住民税納付手続きのお願い」といった内容のメールが届く事例が町内で発生しています。

基本的に税金の納付に関する役場からの連絡は、すべて文書でお知らせしています。税金の納付を促す内容のメールが届いた場合は、「フィッシング詐欺」の可能性が高いです。

不審なメールを受け取った場合は、以下の点に注意してください。

- ①絶対にメールに返信しない!
- ②メール内のURLや添付ファイルを開かない!

税金に関する不審なメールが届いた場合は、税務課までご連絡ください。

お問い合わせ先 税務課 ☎22-3116



長年の功績を称え、大臣感謝状を受領した窪田さん(左)

作業所開設に尽力、窪田さんに感謝状

長年にわたり福祉分野などで率先してボランティア活動を行った方を表彰する「厚生労働大臣感謝状」を、窪田健造さんが受領しました。2月16日には町長室を訪れた窪田さんに感謝状が手渡されました。

窪田さんは、あさぎり作業所を開設するために「コーヒー1杯300円カンパ活動」を行うなど尽力されてきました。その後も、作業所を利用する方々の生活面や作業面において支援するなど、継続的な支援活動が称えられたものです。



受賞した八木さん(左)、JA窪川民踊クラブ(右)、久川さん(右中央)

空手と民踊の功績称え、県民会議顕彰受賞

令和7年度生涯スポーツ推進県民会議顕彰の表彰式が、3月15日に高知県庁で行われ、町内から2個人1団体が受賞しました。

42年にわたり空手指導を続ける八木敏伸さんは、幼少期の体力づくりや礼儀作法を通じ、児童の健全育成に長年尽力されました。また、久川洋子さんは35年以上、民踊の継承と地域交流に励み、今回受賞したJA窪川民踊クラブの指導・運営にも携わり、地域の文化振興に貢献されました。そして同クラブも、小学生への民踊指導など精力的な活動が評価されています。



親しんだ園舎、園庭で最後の記念撮影

「今までありがとう」見付保育所閉所

昭和25年の開所以来、長年、地元住民に愛されてきた見付保育所が、施設の老朽化により3月末で75年の歴史に幕を閉じました。

3月21日に行われた閉所式典では、感謝状の贈呈の後、園児による太鼓や踊り、歌が披露され、園児の一生懸命な姿に会場からは温かな拍手が送られていました。その後、保護者らとともに、「今までありがとう」の気持ちを込めたセレモニーが行われ、たくさんの思い出が詰まった園舎とのお別れをしました。



感謝を込めて全校児童による最後の校歌斉唱

川口小学校153年の歴史に幕

川口小学校は、明治6年の開校以来、153年間で2,424名の卒業生を送り出してきました。しかし、過疎化・少子化の影響により、児童数が減少したことから令和7年度末をもって閉校し、令和8年度から窪川小学校へ統合となります。

3月22日、約200名が出席した閉校式では、川口小学校のアーカイブ映像が放映され、全児童による校歌斉唱が行われた後、児童から校旗が町へ返納されました。

閉校式終了後には、交歓会を行い、参加者は懐かしい思い出話などで大いに盛り上がりました。

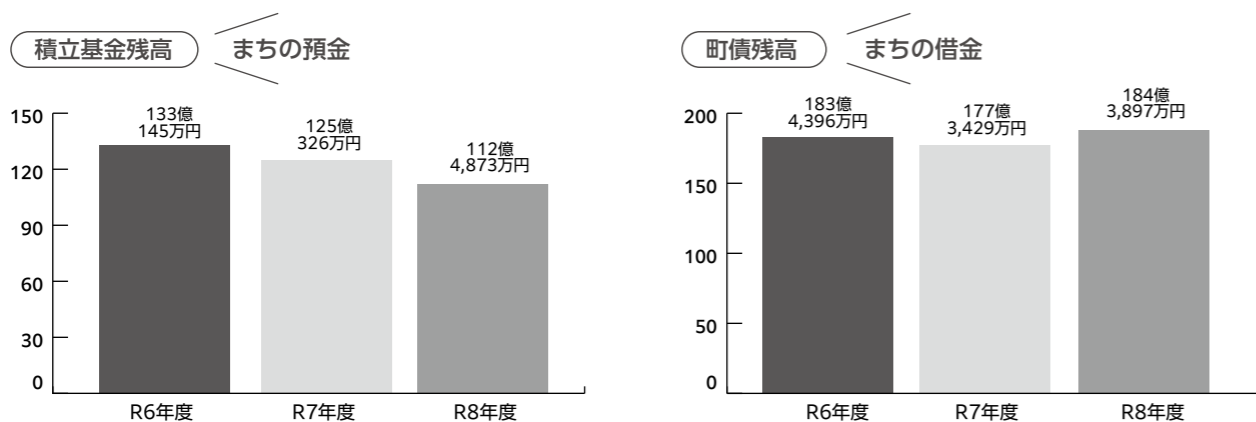
● 町民一人あたりの予算額(目的別一般会計歳出)

令和8年3月1日現在の人口 14,485人



※( )内の金額は各目的別の全体の予算額  
※総務費…一般的な管理経費や企画調整費などのほか、ふるさと納税に係る返礼品などの関連経費や基金への積立金なども含まれます。

● 基金残高と町債残高(一般会計)



● 令和8年度当初予算のうち、主な新規事業は次のとおりです。

- 新規** 公共ライドシェア運行・管理委託料  
お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124  
→野地・家地川・弘瀬地区の交通空白地帯を解消するため公共ライドシェア\*を実施  
\*公共交通が不足する地域や時間帯に限定し、一般ドライバーが自家用車で有料送迎を行う制度  
【予算額】1,643千円
- 新規** クリーンセンター銀河改修委託料  
お問い合わせ先 環境水道課 ☎22-3119  
→クリーンセンター銀河(廃棄物処理施設)の老朽化に伴う施設改修<3年間>  
【予算額】219,211千円
- 新規** 防災ハザードマップ作製委託料  
お問い合わせ先 危機管理課 ☎22-3280  
→新想定に基づく「洪水・土砂災害」「津波」ハザードマップを作製  
【予算額】19,338千円
- 新規** 窪川地域学校施設等整備基本構想委託料  
お問い合わせ先 学校教育課 ☎22-2594  
→窪川地域の学校・保育所などの今後のあり方について構想を策定  
【予算額】4,950千円

【お問い合わせ先】 総務課 ☎22-3111

令和8年度  
当初予算の概要

四万十町の令和8年度当初予算が町議会3月定例会で可決されましたので、概要についてお知らせします。

● 予算編成の基本方針

- ①第2次総合振興計画の推進  
～まちの将来像  
「山・川・海 自然が人が元気です 四万十町」の実現～
- ②人口減少の克服と地方創生を目指して  
～「デジタル田園都市構想総合戦略」に掲げた基本目標およびデジタル実装の基礎条件整備に体系付けた施策の推進～
- ③中・長期的な視点に立った予算編成への取り組み
- ④町民参画と行政の透明性の向上

以上のような基本方針のもと、一般会計における予算総額は、普通建設事業費の減少などにより、前年度と比較して7億3,300万円(3.8%)減少の184億4,600万円となりました。  
また、国民健康保険事業など、8つの特別会計および水道事業会計、下水道事業会計を加えた全会計の純計(重複分を差し引いた)予算規模は244億4,059万円となっています。

● 会計別当初予算の状況

会計名	令和8年度 予算額	前年度 増減率
一般会計	184億4,600万円	▲3.8
特別会計	国民健康保険事業	21億1,120万円 ▲0.3
	国保大正診療所	4億2,140万円 ▲8.8
	国保十和診療所	1億 60万円 ▲20.7
	大道へき地診療所	550万円 ▲9.8
	後期高齢者医療事業	3億9,260万円 5.0
	介護保険事業	26億 500万円 ▲0.2
	特別養護老人ホーム窪川荘	4億3,170万円 0.7
	特別養護老人ホーム四十荘	3億1,030万円 0.6
水道事業会計	10億8,351万円 3.2	
下水道事業会計	1億2,555万円 ▲9.7	
合計	260億3,336万円 ▲2.9	
重複分を除く実質合計	244億4,059万円 ▲2.7	

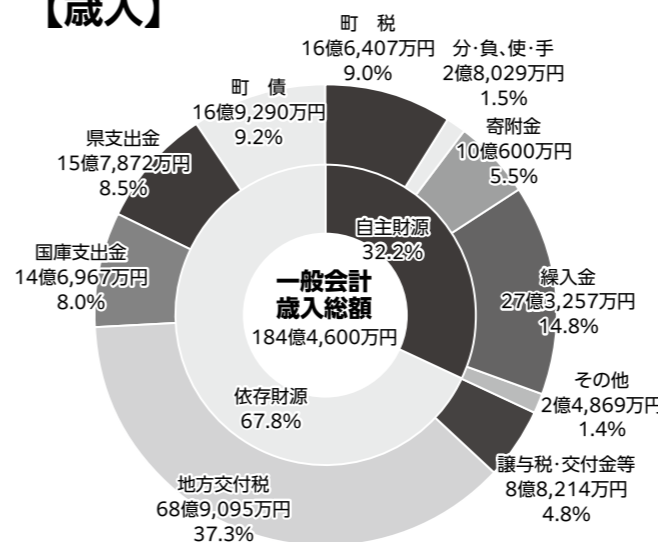
令和7年度 一般会計予算額  
191億7,900万円

令和7年度から  
7億3,300万円減少

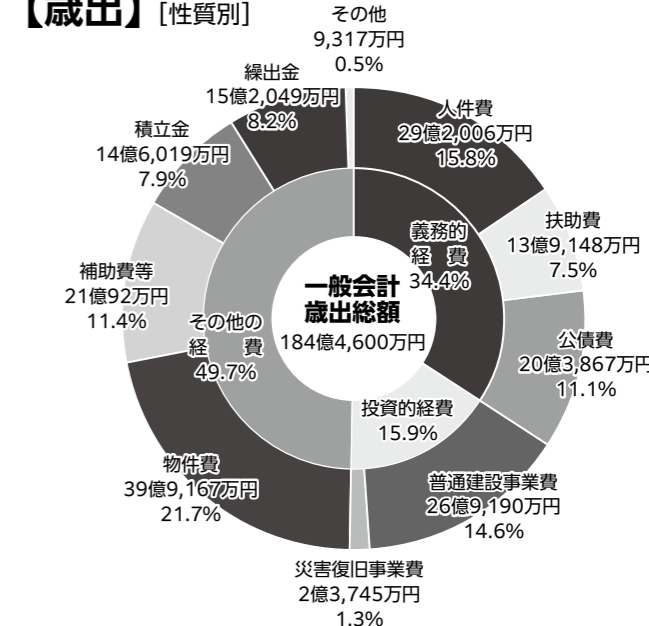
令和8年度 一般会計予算額  
184億4,600万円

● 一般会計当初予算の概要

【歳入】



【歳出】 [性質別]



(7) 職員手当の状況

区 分	四万十町			国		
期末手当 勤勉手当	(7年度支給割合)			(7年度支給割合)		
	6月期 12月期 計	期末手当 1.250カ月分 1.275カ月分 2.525カ月分	勤勉手当 1.050カ月分 1.075カ月分 2.125カ月分	6月期 12月期 計	期末手当 1.250カ月分 1.275カ月分 2.525カ月分	勤勉手当 1.050カ月分 1.075カ月分 2.125カ月分
	職制上の段階、職務の級などによる加算措置 有			職制上の段階、職務の級などによる加算措置 有		
退職手当	(支給率) 自己都合 定年			(支給率) 自己都合 応募認定・定年		
	勤続20年 勤続25年 勤続35年 最高限度額	19.6695カ月分 28.0395カ月分 39.7575カ月分 47.709カ月分	24.586875カ月分 33.27075カ月分 47.709カ月分 47.709カ月分	勤続20年 勤続25年 勤続35年 最高限度額	19.6695カ月分 28.0395カ月分 39.7575カ月分 47.709カ月分	24.586875カ月分 33.27075カ月分 47.709カ月分 47.709カ月分
	その他の加算措置 なし 退職時特別昇給 なし			その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 (3～45%割増) 退職時特別昇給 なし		

特殊勤務手	区 分	割合など
	職員全体に占める手当支給職員の割合	0%
	支給職員1人当たり平均支給年額	0円
	手当の種類(手当数)	—
	手当の名称	—

時間外勤務手当	年間予算額	54,827千円
	職員1人当たり予算年額	226千円

区 分	四万十町	国
扶養手当	0～22歳の子13,000円、 16歳～22歳の子は1人5,000円加算 その他の扶養6,500円	0～22歳の子13,000円、 16歳～22歳の子は1人5,000円加算 その他の扶養6,500円
住居手当	借家の場合、家賃16,000円を超える場合 家賃に応じて28,000円を限度に支給	借家の場合、家賃16,000円を超える場合 家賃に応じて28,000円を限度に支給
通勤手当	交通機関など利用者は55,000円まで全額支給	交通機関など利用者は55,000円まで全額支給
	自動車など使用者は使用距離に応じて 2,000～66,400円を支給 四万十町に住所を有する職員のうち、自動車などの 使用距離が片道20kmを超える職員は、20km を超える1km(1km未満切捨て)当たり200円 を加算(上限5,000円)	自動車など使用者は使用距離に応じて 2,000～66,400円を支給
	片道2km未満の者は支給なし	片道2km未満の者は支給なし

(8) 特別職の報酬などの状況 (令和8年4月1日現在)

給 料	町 長	737,000円	期末手当	町 長	6月期 1.40月分
	副 町 長	631,000円		副 町 長	12月期 1.50月分
教 育 長	577,000円	教 育 長		計 2.90月分	
報 酬	議 長	310,000円	議 長	6月期 1.40月分	
	副 議 長	270,000円	副 議 長	12月期 1.50月分	
	議 員	250,000円	議 員	計 2.90月分	

# 四万十町職員の 給与の状況

令和8年度一般会計予算に計上した  
四万十町職員の給与の状況などは、  
次のとおりです。

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区 分	住民基本台帳 人口(年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 (B/A)	(参考) 5年度の 人件費率
6年度	14,762人	177億7,977万円	2億1,175万円	26億883万円	14.67%	13.51%

注)令和7年度決算は現在算定中のため、令和6年度決算額で計上しています。

(2) 職員給与費の状況(一般会計予算)

区 分	職員数 A	給 与 費				1人当たり給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
8年度	243人	9億5,900万円	1億4,549万円	4億154万円	15億603万円	619.8万円

(3) 職員の平均給料月額、平均給与月額および平均年齢の状況 (令和8年4月1日現在)

区 分	一 般 行 政 職			技 能 職		
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
四万十町	324,410円	349,735円	42歳	—	—	—
国(R7.4.1)	332,237円	414,480円	41.9歳	294,567円	337,907円	51.3歳

(4) 職員の初任給の状況 (令和8年4月1日現在)

区 分	四万十町	国	
一般行政職	大学卒	225,600円	232,000円
	高校卒	200,300円	200,300円

(5) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況 (令和8年4月1日現在)

区 分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一般行政職	大学卒	287,200円	310,500円	356,400円
	高校卒	256,900円	292,000円	314,200円

※経験年数とは、採用前に民間企業などに勤務した期間がある場合は、その期間を換算し、採用後の勤務期間に加算した年数であるが、  
学校卒業後直ちに採用された場合は、採用後の年数である

(6) 一般行政職の級別職員数の状況 (令和8年4月1日現在)

区分	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
標準的な 職務内容	会計管理者 地域振興局長 教育次長 課長 事務局長など	副課長・次長 室長・班長 総括主幹 総括技幹 保育所長 施設長など	副課長・次長 室長・班長 係長 主幹・技幹 保育所長 主任保育士など	主査・技査 保育教諭 保育士 保健師 社会福祉士 介護福祉士など	主任 主任技師 保育教諭 保育士 保健師 社会福祉士 介護福祉士など	主事 技師 保育教諭 保育士 保健師 社会福祉士 介護福祉士など	—
職員数	20人	48人	44人	70人	27人	34人	243人
構成比	8.2%	19.8%	18.1%	28.8%	11.1%	14.0%	100.0%

# 四万十町議会 定例会

## 町長行政報告



### 高知県消防広域化の取り組み

県内消防の広域化は、高知県が主体となり、今後の人口減少が進行する中にもあっても、県民の生命、身体および財産を守るために必要な消防力を確保することを目的としています。現在、県内全市町村の消防組織を一元化するための「高知県消防広域化基本計画」の策定に向け、「高知県消防広域化基本計画あり方検討会」において協議が進められている状況です。

検討会では、広域化の必要性として、主に4つの点が示されています。  
第1に、人口減少に伴う財源の制約です。今後の税収見通しが不透明な中、各消防本部の財源確保が困難になるという懸念があります。

第2に、消防サービスの需要増大です。高齢化に伴う救急出動件数の増加や、南海トラフ地震などの大規模災害への対応など、消防に求められる役割はますます増大することが見込まれます。

第3に、県内消防本部の現状です。県内15消防本部の多くが小規模であり、総務や通信指令といった間接部門に多くの人員を割かざるを得ず、特に郡部では人材確保も困難な状況です。

第4に、これらの課題を解決するためには、消防組織の一元化により

現場活動に振り向けるといった、スケールメリットを生かした組織運営、すなわち消防の広域化が必要であるとされています。

県から示されたこれらの課題は、まさしく本町が抱える喫緊の課題でもあり、昨年9月議会においても、同様の認識を答弁させていただいたところでした。

その後の進捗としまして、本年1月7日に開催された第3回検討会において、今後の具体的な前提条件が示されました。その主な内容として、令和16年度からの消防指令システムの一元化に向けた協議の推進、そして令和10年4月を目標とした実施主体「高知県消防広域連合(仮称)」の設置が挙げられています。これらの方針に基づき、法定協議会の設置に必要となる議会の議決は、令和9年度前半に行われる見込みとなっております。これにより、当初の計画から協議期間が実質的に1年延長された形です。

四万十町としましては、引き続き検討会などにおける議論の推移を注

視し、町民の皆さまの安全・安心の確保という大局的な観点から、本町の考えを明確に示していきたいと考えています。

### ヤマト運輸株式会社との包括的連携協定の締結

人口減少や少子高齢化の進行に伴い複雑多様化する地域課題に対し、官民連携による住民サービスの向上と持続可能なまちづくりを推進するため、令和8年2月3日、ヤマト運輸株式会社と包括的連携協定を締結しました。

本協定の中核である安全・安心な地域づくりにおいては、同社の事業網を生かし、日常業務を通じた高齢者などの見守り活動を開始することで、住民の孤立防止と生活の異変を早期に見見できる体制を構築するものです。併せて、不審者や道路損傷などを発見した際の情報共有を円滑化し、迅速な対応が可能となる環境を整えることとします。

また、本協定は災害時における協力的体制の構築や、移住促進・観光分野における本町の魅力発信支援など、多岐にわたる連携も視野に入れたものであり、これらは町の持続的な発

展と住民生活の安定に不可欠な要素です。これらの項目については、今後、同社と具体的な連携のあり方に関する協議を進め、協定の実効性を高めていくこととしています。

今回の協定締結を契機として、多岐にわたる地域課題に対し、本町の実情に応じた連携体制の充実を図り、町民の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を構築していきます。



### 公共交通ネットワークの再編と公共ライドシェアの導入

本町の交通の要であるJR予土線との連携を強化し、利便性の抜本的向上を図るため、国道381号線を走行する路線バスの再編に着手します。

まず、令和8年4月より「窪川駅から道の駅とおわ」間の直行路線を開設し、トンネル経由による速達化を実現するとともに、長年の課題であった日祝日の運休を解消し、全日運行化を図ります。併せて、運賃体系をJR予土線の水準に合わせ、鉄道とバスを一体的に利用できる環境を整えていきます。将来的には、本路線を四万十市江川崎駅まで延伸する協議も進めており、広域的な移動の円滑化を目指します。

また、路線の速達化に伴い懸念される交通空白地の解消にも万全を期していきます。河内・浦越・吾川の各地区につきましては、既存のコミュニティバスにより生活の足を確保します。

一方で、車両や運転手の不足が深刻化し、定期運行が困難な野地・家地川・弘瀬地区においては、本交通再編における新たな取り組みとして、全国的にも注目されている「公共ラ

イドシェア」を導入します。

この取り組みは、地元の集落活動センターの皆さまに多大なるご協力をいただくもので、まさに地域共助の精神によって実現するものです。運用としましては、前日までの予約制とし、「各ご家庭の前から国道沿いのバス停まで」を運賃100円できめ細かく結び、国道を走る路線バスと円滑に接続することで、通院や買い物などにおける利便性を確保します。

今回の再編は、単なる路線の見直しにとどまらず、新たな選択肢である「ライドシェア」を地域の皆さまとの連携によって形にする、本町の実情に即した持続可能な交通体系の構築を目指すものです。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、今後も地域の実情に応じた交通ネットワークの充実に邁進します。

### 県立高校振興再編計画前期計画の状況

先の9月定例会の行政報告でもご報告させていただいたとおり、高知県が策定した高校振興再編計画の前期実施計画を受け、窪川高校では野球部の復活に向けた取り組みや韓国の高校生との交流、DXハイスクールを生かした取り組みなど、四万十高校では寮生の

活動のサポートの充実化やミツバチの養蜂による教科横断的な取り組みなどを実施し、両校がそれぞれに魅力化を図りながら生徒数の確保に積極的に取り組んできました。

この結果、今年1月に実施されたフロンティア入試という新たな入試制度では窪川高校が20名、四万十高校が23名の合格者を確保し、また従来の選考方法であるA日程には、窪川高校が19名、四万十高校が3名の出願状況となっており、出願者全員が合格すれば次年度の入学者数は窪川高校で39名、四万十高校では26名となります。

これは、高知県が示す窪川高校の入学者数の努力目標41名以上に近く、四万十高校においては努力目標25名以上を上回る人数であり、もう一つの努力目標である地元中学校からの進学率向上という課題は残っているものの、両校存続に向けて一定の目的が立ってきたと考えています。

今後も、継続的に高校魅力化を通じて生徒数確保に努めながら、入学した生徒が充実した高校生活を送れるよう町としてもできる限りのサポートをしていきますので、町民の皆さまの積極的なご協力をお願いいたします。

町民の皆さまには、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 子育ての「今」と「昔」

子育てを取り巻く環境は、今と昔で大きく変わっています。昔は当たり前だったことが、今は少し変わっていることもあり、パパ・ママ、おじいちゃん・おばあちゃんの認識が違うこともあるのは当然です。では、具体的にどんなことが変わったのか、いくつかご紹介します。

<h3>抱っこ</h3> <p><b>昔</b> 泣いた時に「泣いて肺が強くなる」、「抱き癖がつく」とすぐに抱っこをしない。</p> <p><b>今</b> 泣いた時に抱っこしてあげることで自己肯定感や人への信頼感が育つといわれている。抱き癖は気にしなくてよい。</p>	<h3>おむつ</h3> <p><b>昔</b> 早め(2歳頃まで)に外していた。</p> <p><b>今</b> 子どもの発達に合わせ、慌てなくてよい。</p>	<h3>0~4か月頃の水分補給</h3> <p><b>昔</b> 水分補給に白湯を飲ませる。</p> <p><b>今</b> 母乳やミルクでよい。</p>
<h3>歩行器</h3> <p><b>昔</b> 赤ちゃんの歩行訓練に良い。</p> <p><b>今</b> 歩行器で発達が促されるわけではなく、特に推奨されるものではない。</p>	<h3>卒乳と断乳</h3> <p><b>昔</b> 1歳頃までに断乳。</p> <p><b>今</b> 1歳過ぎても自然とおっぱいから離れるまで授乳を続けてよい。(卒乳)</p>	<h3>衣服</h3> <p><b>昔</b> 冬は風邪を引かないようにとたくさん着せていた。</p> <p><b>今</b> 子どもは体温が高く、衣類は昔より性能が良くなっているため、大人より1枚少ないくらいが目安とされる。</p>

子ども(孫)の成長は家族全員がうれしいものです。お互いの知識や経験を上手に生かして、助け合いながら成長を見守っていききたいですね。

【お問い合わせ先】健康福祉課 ☎22-3115

## 水虫は治ります！

少しずつ寒さが緩み、暖かい季節になってきました。汗ばむ季節になると元気に活動しはじめるのが「水虫」です。

水虫は、カビの一種である白癬(はくせん)菌によって引き起こされる皮膚の感染症です。高温多湿を好むため、蒸れやすい足の裏や足の指、足の爪への感染が多くみられます。

治療には塗り薬や飲み薬を用いて、症状の緩和を図ります。最近では高い効果が期待できる薬もあるので、しっかり治療すれば水虫は治ります。かゆみなどの症状がなくなった後も、菌は生きているため、薬を継続する必要があります。

予防には、足を清潔に保ち、通気性を良くすることが大切です。入浴時には患部をよく洗い、しっかり乾燥させましょう。

水虫治療のポイントは「根気よく！」です。完治を目指して根気よく頑張りましょう。



### 無料健康相談日

4月は 12日(日)、26日(日)です。

5月は 10日(日)です。

どうぞ、気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】  
たきぐち薬局 くぼかわ店  
薬剤師 池田 豊 ☎29-0225

## 子育て通信

内容	日時	場所	お問い合わせ
4・7か月児健診	4月15日(水) 対象者に個別通知	窪川地域子育て支援センター	健康福祉課 ☎22-3115
赤ちゃん相談	4月16日(木) 9:30~11:30	十和地域子育て支援センター (昭和保育所内)	十和町民生活課 ☎28-5112

## 健康検査・がん検診

内容	日時	場所	お問い合わせ
子宮頸がん検診	4月27日(月) 9:00~11:00 13:00~15:00	四万十町役場本庁東庁舎	健康福祉課 ☎22-3115
乳がん検診	4月27日(月) 8:30~11:30 13:00~15:30		
子宮頸がん検診	4月28日(火) 9:00~11:00 13:00~15:00		
乳がん検診	4月28日(火) 8:30~11:30 13:00~15:30		
<input type="checkbox"/> 若者健診 <input type="checkbox"/> 特定健診 <input type="checkbox"/> 後期高齢者健診 <input type="checkbox"/> 結核・肺がん検診 <input type="checkbox"/> 胃がん検診 <input type="checkbox"/> 大腸がん検診 <input type="checkbox"/> 前立腺がん検診	5月 8日(金) 8:30~10:00	興津町民館	



からだに  
いいはなし

春になると「体がだるい」「日中ずっと眠い」「頭が痛い」といった「春バテ」といわれるような心身の不調を感じることはありませんか？

自律神経のバランスが崩れると、私たちの身体に不調をきたすようになります。

### ■ 予防と対策のポイント

#### 1. 1日3回食事をとりましょう

食事をとると消化のために自律神経のバランスが整います。食事をしないと自律神経の乱れにつながります。特に朝食はしっかりとるようにしましょう。



#### 2. 激しい気温差

春は1日の気温差が大きい季節です。気温の変化に対応するために交感神経が活発に働くため、エネルギーが消費され疲労感を感じやすくなります。また、気圧が頻りに変動するため、自律神経の切り替えがうまくいかなくなり心身の不調が出てしまいます。身体を冷やさないよううまく体温調節することが大切です。

#### 3. 体を動かすことを心がけましょう

運動は肥満を予防するだけでなくストレス解消にもなり、自律神経の働きに良い刺激を与えてくれます。質の良い睡眠をとるためにも必要です。特に散歩やヨガ・ピラティスなど無理なく自分のペースでできる運動やスポーツを楽しみましょう。カラオケや趣味も大切です。腹式呼吸でゆっくり大きく深呼吸を5分ほど行うのもよいでしょう。

#### 4. お風呂(温泉)にゆっくりつかりましょう

お風呂(温泉)につかると副交感神経が働き、自律神経のバランスが整います。ぬるめ(38~40℃)のお湯で、つかる時間は10分程度にしましょう。熱いお湯での入浴はヒートショックを起こしたり、長時間の入浴は脱水症状につながってしまうことがありますので、入浴は暖かい昼間の時間帯に入るのもよいでしょう。

#### 5. 睡眠をしっかりとりましょう

睡眠中は副交感神経が働きます。睡眠時間が短いと交感神経優位の状態が長く続き、自律神経のバランスが乱れてしまいます。毎日一定の睡眠時間を心がけましょう。

四万十町国保大正診療所 大窪秀直 谷中寛和 大川剛史

「春バテ」って  
なあに？



带状疱疹予防接種開始について

お知らせ

厚生労働省では、带状疱疹を予防接種法のB類疾病に位置づけ、令和7年4月1日から带状疱疹ワクチンが定期接種となったことにより、四万十町でも助成を開始しています。

- **対象者** 四万十町に住所があり、次の①または②のいずれかに該当する方が対象です。
  - ①令和8年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方
  - ※令和12年度以降は、接種日時点で65歳の方のみが対象になります
  - ②接種日時点で60歳以上65歳未満の方で、心臓、じん臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫機能に重い障がいがある方(身体障害者手帳1級または同程度と診断された方)
  - ※対象者には、個別に予診票を発送しています
- **実施期間** 4月1日(水)～令和9年3月31日(水)  
※委託医療機関の休診日を除く

- **接種回数** 生ワクチン : 1回  
組換えワクチン: 2回
- **接種費用** 自己負担金  
【生ワクチン】3,000円  
【組換えワクチン】7,000円(1回につき)  
※生活保護受給者は、接種の際、健康福祉課で発行する「自己負担金免除証明書」が必要です。(本人以外が申請する場合は委任状が必要)

- **接種場所** 県内の委託医療機関
- **申込先** 県内の委託医療機関  
※県外の医療機関で定期予防接種を受ける方は、償還払いの対象になる場合があります。接種前に事前の申請が必要です。健康福祉課で手続きをお願いします。

お問い合わせ先 健康福祉課 ☎22-3115

みんなの涼しい休憩所！  
クーリングシェルターとして開放！

お知らせ

「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合、熱中症の発症を予防するために次の施設をクーリングシェルターとして開放します。



- **開設期間** 4月22日(水)～10月21日(水)

////////// クーリングシェルター一覧 //////////

施設名	場 所
四万十町役場本庁	西庁舎(JR窪川駅側)1階 ふれあいホール
大正地域振興局	1階 玄関ホール
十和地域振興局	2階 和室 ※利用状況により場所変更あり

※ 開放時間は、全施設8:00～18:00となります

お問い合わせ先 危機管理課 ☎22-3280

RSウイルス母子免疫ワクチン  
定期接種のお知らせ

お知らせ

令和8年度から**妊娠28週から36週の妊婦の方**を対象に**RSウイルス感染症**に対する**母子免疫ワクチン定期接種(自己負担なし)**を実施します。

RSウイルスは乳幼児期に呼吸器症状を引き起こす感染症で、2歳までにほぼすべての乳幼児がRSウイルスに感染するとされています。

母子免疫ワクチン接種は、妊婦中に接種し、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時からRSウイルスに対する予防効果を得るためのものです。

- **対象者** 四万十町に住所のある妊婦  
(妊娠28週0日から36週6日まで)

- **接種回数** 1回

※接種には予防接種予診票が必要です。接種をご希望の方は、健康福祉課までお問い合わせください。



お問い合わせ先 健康福祉課 ☎22-3115

○休日在宅当番医

月 日	医院名	電話番号
4月19(日)	くぼかわ病院	☎22-1111
26(日)		
29(水)		
3(日)		
4(月)		
5(火)		
5月6(水)		
10(日)		

⚠ 休日水道修理当番は窪川地域のみです。  
大正・十和地域の方は各地域振興局にお問い合わせください。  
大正 地域振興課 ☎27-0111 十和 地域振興課 ☎28-5111

○無料相談 (秘密厳守です。)

1日行政相談 【窪川】行政相談員 森 英真【大正・十和】行政相談員 山本 安弘

月 日	時 間	地 域	場 所	電話番号
4月14(火)	10:00～15:00	窪川	農村環境改善センター 2階 会議室	総務課 ☎22-3111
5月12(火)				

令和7年度 入札結果  
(令和8年2月実施分)について

入札結果は、町ホームページにて確認することができます。また、右の二次元コードから読み込むことも可能です。



四万十町公式LINE  
でも情報配信中！

役場からのお知らせや町内の情報がLINEで届きます！

登録者数 2,500人突破！



お問い合わせ先 | 企画課 ☎22-3124

【放送案内】四万十町防災講演会

お知らせ



放送日時

- ①4月15日(水) 21:00～
- ②4月18日(土) 21:00～
- ③4月19日(日) 14:00～
- ④4月21日(火) 21:00～

2月28日に開催された「四万十町防災講演会」の様を、ケーブルテレビで放送します。災害支援の第一線で活躍する、吉村誠司さん、藤丸剛さん2名が語る、被災地のリアルな現状と備えの重要性は必見です。

ぜひ家族皆さまでご視聴ください。

お問い合わせ先 危機管理課 ☎22-3280

町税の納税通知書を発送します

お知らせ

令和8年度の「軽自動車税」と「固定資産税」の納税通知書を発送します。軽自動車税は5月1日、固定資産税は5月8日に発送しますので、納期限までの納付をお願いします。

●軽自動車税

発送日 5月1日(金)

納期限 6月1日(月)

口座振替日 5月25日(月)

※内容をご確認いただき、納期限までの納付をお願いします。

※令和8年度より、口座振替分の領収書兼納税証明書の送付を廃止します。振替口座の通帳などで納税確認をお願いします。

※身体障害者手帳・戦傷病者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方で、一定の要件に該当する場合、納期限までに申請することで、軽自動車税の減免を受けることができます。

この減免については普通車を含め1人1台に限ります。詳しくは税務課までお問い合わせください。

●固定資産税

発送日 5月8日(金)

納期限 5・7・9・11月の各月末です

(月末が日曜日など休日にあたる場合はその翌日)

※納め忘れのないよう計画的に納付をお願いします



お問い合わせ先 税務課 ☎22-3116

退職後、国民年金の切り替えをお忘れなく!

お知らせ

【退職した時は国民年金への加入手続きを!】

4月は退職が多い時期です。退職後は、厚生年金から国民年金に切り替える手続きが必要です。退職後に手続きをしないと、未加入期間が生じ、もしもの時に障害年金や遺族年金がもらえないなど将来の年金に影響を与える可能性があります。

※任意継続健康保険に加入した場合も国民年金への切り替えが必要

※配偶者が退職し、社会保険の扶養から外れた場合も手続きが必要

●必要書類 退職した日が分かる書類、本人確認書類

【退職(失業)による特例免除制度をご利用ください!】

収入の減少や失業などにより、国民年金保険料を納めることが経済的に困難な方は、申請によって保険料の納付を免除される制度があります。

通常、保険料が免除されるためには、申請者本人・配偶者・世帯主の方が所得基準の範囲内である必要がありますが、特例免除制度では、審査の対象となる申請者本人の所得を除外して審査を行います。

●必要書類 雇用保険被保険者離職票の写し、または雇用保険受給資格者証など

【国民年金保険料 納付のご案内】

令和8年4月から令和9年3月分の国民年金保険料は、月額17,920円です。

日本年金機構から送られる納付書により、納付期限までに金融機関、郵便局、コンビニエンスストアまたはスマホ決済アプリで納めてください。

また、クレジットカードによる納付や便利でお得な口座振替などもあります。

【今年度の出張年金相談所のご案内】

●日 程 6月3日(水)・12月9日(水)

●場 所 四万十町役場西庁舎1階 会議室

※相談を希望される方は、事前に高知西年金事務所へ予約をお願いします

申請・お問い合わせ先

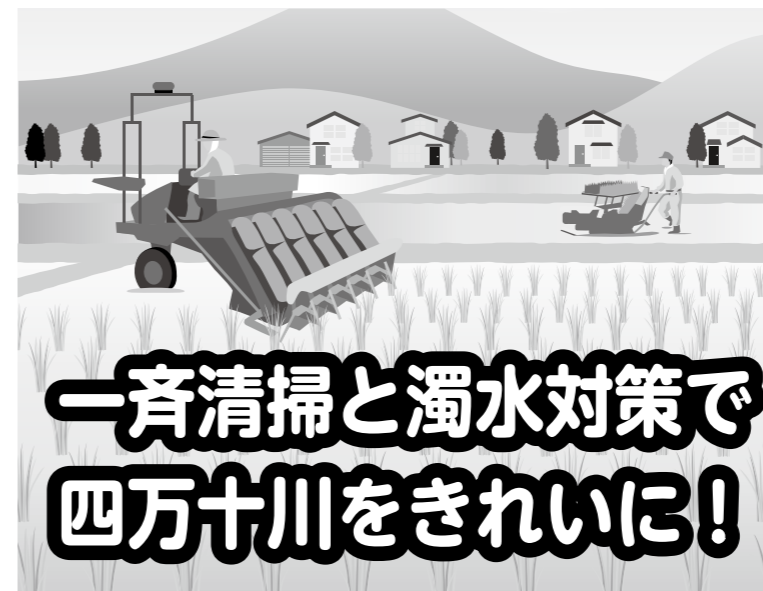
高知西年金事務所 ☎088-875-1717

※お問い合わせの際は、お手元に基礎年金番号の分かる年金手帳や年金証書をご用意ください。

町民課 ☎22-3117

大正町民生活課 ☎27-0112

十和町民生活課 ☎28-5112



一斉清掃と濁水対策で  
四万十川をきれいに!

【四万十川一斉清掃】にご協力を!

日ごろの川の恵みに感謝し、清流と呼ばれる美しい川を取り戻すため、今年も実施します。

皆さまの積極的なご参加・ご協力をよろしくお願いいたします。

●日 時 4月19日(日)7:30~9:00

※小雨決行、雨天の場合は中止

\\詳細はコチラ/



春は四万十川が濁っている!?

今年も田植え作業の準備が町内各地で始まっています。

毎年、田植え作業を行う際には、四万十川の濁りを軽減するために「浅水代掻き」の実施をお願いしています。代掻き時期は毎年、春の観光シーズンと重なるため、増水してないにも関わらず、代掻きなどの農作業によって発生した濁水が四万十川に流出し、観光客の皆さまに「美しい四万十川」を見ていただけていない状況となっています。

また、川底に泥などが堆積することにより生態系への影響も危惧され、アユの遡上にも少なからず影響を与えていることから、清流保全に向けた取り組みが急務となっています。

「浅水代掻き」や「止水版の利用」にご協力を!

水を極力少なくして行う「浅水代掻き」は、濁水対策だけでなく、肥料成分の流出を防いだり、田面の凹凸が確認できることから、均一に泥寄せを行うこともできます。

また、田んぼから濁水や肥料成分が河川や排水路に流出しないよう「止水板」の利用も、濁水対策には有効です。

四万十川の環境保全に関わる業務は、これまで企画課四万十川振興室が行っていましたが、今年度の組織改編により農林水産課へ引き継ぎます。

農林水産課では「止水板」の利用を推奨し、無料で配布していますので、ぜひご活用ください。

農業用資材の処分について!

依然として四万十川本流には漂着ビニールなどが目につき、景観が損なわれている状況があります。使用済みのハウス用ビニールについては、適切に処分・保管をお願いします。

四万十川の豊かな環境をより一層保全し、日本最後の清流として  
後世に引き継いでいけるよう皆さまのご協力をお願いします。



止水板  
(縦40cm×横30cm)

お問い合わせ先 農林水産課 ☎22-3113

## 令和8年度合併処理浄化槽設置整備補助金について

お知らせ

四万十町では、生活排水の浄化対策の一環として、合併処理浄化槽を新たに設置する方に対して補助制度を設けています。

### ●補助対象条件

- ①令和9年3月10日までに確実に完成できる方
- ②店舗などの併用住宅の場合は、居住部分の延床面積が全体の2分の1以上であること

### ●予定補助金額

5人槽 332,000円 7人槽 414,000円  
10人槽 548,000円

### ●人槽の目安(基本的に建物の延床面積で計算)

130㎡未満…5人槽  
130㎡以上…7人槽  
二世帯住宅…10人槽

### ●追加補助

- 以下の方は、追加補助がある場合があります。
- くみ取り便槽から合併処理浄化槽へ切り替える方
  - 単独浄化槽から合併処理浄化槽へ切り替える方
  - 放流先の配管が10m以上の長さを要する方

- 浄化槽更新事業に伴い必要となる合併処理浄化槽の撤去を要する方  
※追加補助の詳細内容は下記までお問い合わせください

### ●申込方法

補助金を希望される方は、担当課にて補助金申込書を提出してください。  
※申込の際は建物の延床面積が必要です  
※予算がなくなり次第、受付を終了します

☆合併処理浄化槽の放流水の放流先について、法的には同意書の添付は必要ありませんが、トラブルの原因とならないよう設置者において水路の管理者などにご確認をお願いします。

**四万十川を守るためにも、汲み取り便槽や単独浄化槽から、合併浄化槽へ切り替えませんか!**

### 申込・お問い合わせ先

環境水道課 ☎22-3119  
大正町民生活課 ☎27-0112  
十和町民生活課 ☎28-5112

## 令和8年5月から防災気象情報が新しくなります!

お知らせ

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意報			

令和8年5月下旬より防災気象情報が整理・刷新され、避難のタイミングが「直感的にわかる」体系に変わります。

### 【何が変わるの!?!】

- ①気象庁が発表する情報(防災気象情報)と市区町村が発令していた5段階の避難警戒レベルの数字を連動させ、名称に含んだ形で発表されます。
- ②これまで「警報」と「特別警報」の間に明確な段階がなかったのに対し、新体制では「避難指示」が出されるレベル4に「危険警報」を新設し、いつ逃げるべきかがより明確になります。

### 【発表されたら!?!】

「レベル3警報」や「レベル4危険警報」が発表されたら、町からの避難指示などに十分注意し、大雨で危険度が高まった地域が地図で表示される「キキクル」や河川の水位情報を参照し、危険な場所にいる方は早めの避難を心掛けてください。

### 【事前の備え】

いざという時にどのような行動をとるのか、家庭や企業・組織内であらかじめ話し合っておきましょう!

### 変更ポイント

レベル5: **特別警報**: すでに災害が発生  
レベル4: **危険警報(新設)**: 危険が切迫  
レベル3: **警報**: 高齢者など避難の目安



新たな防災気象情報に関する特設ページはコチラから

お問い合わせ先 危機管理課 ☎22-3280



## 令和8年度 飼い主のいない猫への不妊・去勢手術費補助金について



「飼い主のいない猫への不妊・去勢手術費補助金」の交付についてお知らせします。

### 補助対象

- ①四万十町内に生息する飼い主のいない猫(所有者がいないことが明らか)であること
  - ②申請者は飼い主のいない猫を管理している四万十町内を所在地とする団体であること
  - ③手術後に不妊・去勢手術済みであることが分かる耳カット処置(領収書に耳カット処置ありの記載)があること
- ※飼い猫・営利目的に飼養管理している猫は対象外となります

### 補助金額

- メス猫: 1匹につき限度額15,000円(実費費用金額)
- オス猫: 1匹につき限度額10,000円(実費費用金額)

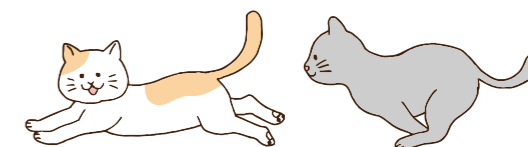
### 申請方法

申請者は、令和9年3月31日までに申請書兼請求書と手術にかかった領収書および関係書類を添えて、担当課に提出してください。  
※予算がなくなり次第、受付を終了します  
※申請をご検討中の方は、手術前に補助金の残額状況をご確認ください

## 地域猫活動の輪を広げよう

地域猫活動は、「排除」ではなく「共生」を目指す活動です。

不妊・去勢手術と適切な管理で、猫も人も安心できる環境を目指しています。  
小さな命を地域で支える取り組みに、ご理解をお願いします。



### 申請・お問い合わせ先

環境水道課 ☎22-3119  
大正町民生活課 ☎27-0112  
十和町民生活課 ☎28-5112



~くらしの中のエコろがけ~

かつての「クールチョイス」は、賢い選択の提案でしたが、デコ活は、その先へ…。無理なく、自然に、脱炭素を日常に取り入れ、暮らし全体でCO2を減らすチャレンジです。

※デコ活とは  
二酸化炭素(CO2)を減らす脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を取り入れた活動や生活を意味する新しい言葉です。

お問い合わせ先 環境水道課 ☎22-3119

硝子の花器展

イベント

愛媛県松野町の「道の駅虹の森公園まつ」内にある森の国ガラス工房。山岡健輔・由子さんご夫婦がその工房で制作したガラス製の花器を展示販売します。山岡さん夫婦は、地域で回収した瓶をリサイクルしてさまざまなガラス製品を制作しています。

吹きガラスならではのオリジナリティーな花器は色や形がさまざま。好みの花器をみつけて季節の花を生けてみませんか？

- 日時 5月22日(金)～6月17日(水)  
(注)木曜定休  
9:00～16:00

- 場所 古民家カフェ半平
- 参加費 無料



お問い合わせ先

古民家カフェ半平 ☎22-2101

第23回よってこい四万十

イベント

今年も5月3日に、こいのぼり公園で「第23回よってこい四万十」を開催します。

上空にこいのぼりが舞う中、お子さまが楽しめるさまざまな催し物のほか、地場産品やキッチンカーによる飲食物の販売も。皆さま、ぜひお越しください！

◆主なイベント内容

- エアートランポリン、あめご釣り堀、鯉のぼり寄せ書き
- ペーパークラフト・新聞バッグ作り体験
- ゆとりの森見学車両運行

**【幡多神楽保存会 定期公演(星神社境内)】 12:00～**  
**【こいのぼりの川渡し期間】 4/12(日)～5/9(土)**

- 日時 5月3日(日)  
10:00～15:00

- 場所 こいのぼり公園(四万十町十川)

お問い合わせ先

こいのぼり交流の集い実行委員会 事務局  
(十和地域振興局内)  
☎28-5111

「四万十町通信」広報委員募集

募集

毎月10日発行の四万十町広報誌「四万十町通信」。行政からの情報や町の出来事などを、より分かりやすくお伝えするために毎月1回広報委員会を開催しています。

広報誌への自由な意見・提案をともにしていただける広報委員を募集します。

- 内容 広報委員会への出席(月1回)  
※原稿の作成や取材業務などはありません
- 応募資格 四万十町在住の方で、広報に興味のある20歳以上の方
- 募集人員 若干名
- 任期 1年(6月～令和9年5月末日)
- 報酬 5,000円/回
- 募集期限 5月8日(金)  
※面談(5月中旬予定)のうえ決定します

私たちと一緒に、  
楽しく広報誌を作ろう！



申込・お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124

道の駅めぐり窪川「27周年創業祭」

イベント

今年も恒例の創業祭を開催します。今回は、ど礼もんによるカツオたたきやスイーツなど、県内の盛りだくさんの美味しいものが屋台で立ち並びます。

もちろん、めぐり自慢の豚まん、ソフトクリーム販売に加え、吹奏楽の演奏、餅投げなどのイベントもお楽しみに！

※カツオのたたきの実演はありますが、販売は別途ご用意した商品のみとなります

- 日時 4月19日(日)  
10:00～15:00
- 場所 道の駅めぐり窪川

お問い合わせ先

道の駅めぐり窪川 ☎22-8848

高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画推進委員会の委員募集

募集

町の高齢者支援や介護保険サービスなどに関する「四万十町高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定に携わっていただく委員を公募します。

- 内容 推進委員会への出席・計画についての審議(任期中、平日昼間4回程度開催)
- 応募資格 四万十町の介護保険被保険者(40歳以上の方)
- 募集人員 若干名
- 任期 5月から令和11年3月未まで
- 報酬 1回につき5,000円(交通費別)
- 応募方法 応募の動機と「地域住民の一人ひとりがいきいきと暮らせるまち」をテーマとした作文(様式自由)に、住所、氏名、年齢、職業、連絡先の電話番号を記入し、持参または郵送で応募してください。
- 選考方法 推進委員会公募委員選考基準により選考します
- 選考結果 ご本人に結果のみ連絡します
- 応募締切 4月17日(金)午後5時必着

申込・お問い合わせ先

高齢者支援課 ☎22-3900

町営住宅入居者募集

募集

募集住宅	団地名	間取り	募集戸数
	金上野団地(公営)	3LDK	1戸
	金上野団地(公営)	1DK	1戸
	コーポしまんと2号棟(特公)	2DK	1戸
	米奥団地(子育て住宅)	3LDK	3戸

- 申込期限 4月30日(木)必着
- 必要書類 入居申込書・住民票・完納証明・納付状況調査同意書・所得を証明する書類など
- その他 ①申し込みは、1回の募集において1世帯につき1通に限ります。  
②入居資格、申込方法などについては建設課までお問い合わせください。

- 申込書配布場所 建設課、大正・十和両地域振興局、興津出張所

お問い合わせ先 建設課 ☎22-3120

すくすく

七里  
さかもと とおや  
**坂本 桐弥さん**  
令和4年5月25日生まれ  
兄弟仲良く 元気いっぱい  
大きくなってね!!  
(豊・美智子より)

志和  
やまもと うたや  
**山本 唄也さん**  
令和4年11月16日生まれ  
毎日ニコニコのうたや君!!  
これからも兄弟仲良く  
毎日楽しく過ごそうね!!  
(貴昭・由佳理より)

3歳頃までのお子さまを募集しています! 応募はこちらから →

【お問い合わせ先】 企画課 ☎22-3124

## 窪川高校12~2月の活動紹介

### ★お野祭市場

11日に関西研修の一環として1年生が大阪・天神橋筋商店街で「お野祭市場」を開催しました。ラスト10分で無事完売。今年もJ A四万十・天神橋筋商店街の皆さまにご協力いただき開催することができました。

12月



### ★夢・志発表会

30日に総合的な探究の時間、地域課題研究の成果発表として、窪川四万十会館で発表会が行われました。今年度は夏休みに韓国短期留学をした生徒の成果報告も行われ、1年間の学習の成果を発表しました。

1月



### ★3年生卒業LIVE

4日に音楽部が3年生のために卒業ライブを企画！3年生のピアノの連弾や歌、1・2年生のバンド演奏など、盛りだくさんの内容で学年を越えて音楽で盛り上がりました。

2月



## 先輩方が大事に守ってきたもの

国の重要無形民俗文化財に指定されている「土佐の神楽」。高知県内の山間部に受け継がれてきた九つの神楽の一つが、十和地域に伝わる「幡多神楽」だ。

地域の五穀豊穡や無病息災を祈り、祝事に舞われてきた。幡多神楽保存会の竹内朗さんは「本来は見る人がおろうがおるまいが、お宮に奉納するのが基本と思うちゅうけんね、神楽というものは」と話す。

幡多神楽の始まりは江戸末期の安政元(1854)年。久保川の神職・平野清記が梶原の津野山神楽を伝授され、演目を加えて星神社(十川)に奉納したのが起源とされる。

舞の基本は、東西南北と中央の「五方」に移動し、拝みながら舞う幣舞。宝物の剣を探す「金山彦の舞」、豊年の舞とも呼ばれる「稲荷大国の舞」など、全18演目がある。すべて舞うとおよそ6時間に及ぶが、近年では全演目を披露することはほとんどないという。

竹内さんが保存会に入ったのは20代のころ。消防団の先輩に誘われたのがきっかけだった。本業の大工仕事を終

えるとお宮に集まり、宵闇の豆電球の下で練習を重ねた。「二礼二拍手のお参りから始めてね。練習うても、そんなに教えてもらわなかった」。先輩たちの舞を見て覚えていったという。

ある時は「次、いってこい」と、ぶっつけ本番で舞台に立たされたこともあった。「『十日の練習より一日の本番が大事』と言われて。今はそういうことはないけど」と笑う。

幡多神楽を守り継いで約40年になる。「舞に関してはすべて大事と言えば大事やけど、静と動の動きのキレよね。同じ舞をしても、人によって違いがいろいろあるけんね」。

現在、保存会のメンバーは30~60代の8人。近年は高知市など町外のイベントで舞を披露する機会も増えた。「先輩方が大事に守ってきたもの。その道に携わった以上、引き継ぐ側としてできることはせないかん」と竹内さん。

5月3日には、1年で「一番大事」という節句公演が星神社で行われる。



竹内朗さん  
(幡多神楽保存会会長)

町にはこんなwazaも

陸上で活躍中！ 谷脇 愛菜さん 窪川小学校5年

「窪川JRC」に所属し、窪川ロードレース大会(小学4・5・6年生女子の部、2km)で優勝するなど活躍している。「練習より試合が楽しい。100メートルの短距離走も、もっと速くなりたいです」と目標に向かっていく。

こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。ちよいwaza!!は随時募集中!



未来のwaza!!



高知県立窪川高等学校

Kochi Prefectural Kubokawa High School

〒786-0012 高知県高岡郡四万十町北琴平町6-1

TEL(0880)22-1215・22-1216

E-mail:320118@ken.pref.kochi.lg.jp



窪高ホームページ



KUBOKAWA\_HIGH\_SCHOOL

このコーナーでは、県立窪川高校、県立四万十高校、町営塾「じゆうく。」での生徒たちの活動を月替わりで紹介しています。

# そこに 学校があった

## 休廃校の歴史

### 北ノ川中学校 (下)

平成以降に休廃校になった学校を中心に振り返ります。

#### ソフトボール部の活躍と その礎となった野球部時代

75年の北ノ川中学校の歩みには、山間の小さな中学校とは思えないものがある。「北ノ川中といえばソフトボール」と思い浮かべる方もいよう。1975(昭和50)年の西日本大会初制覇を皮切りに、翌年は連覇を成し遂げ、その後も全国で知られる強豪校として活躍した。近年では2008年の全国中学総体でベスト8。2011年には同大会で優勝し全国制覇を果たした。さらに2014年には、全日本中学生男女ソフトボール大会で優勝と、数々の輝かしい実績を残した。

ソフトボール部は1968年頃までは野球部であった。野球部時代後半の1965年には“猛者たち”がいた。特にキャプテンでエースで4番の生徒の負けん気は人一倍。「マウンドは自分が守る」と、春休みに自主キャンプを敢行。1学年後輩のキャッチャーに練習相手を頼んだ。このキャッチャーもまた強者で、体格が良く「小4から中3まで相撲で負けたことがない」という“逸材”。このバッテリーを擁して町で初優勝し、郡大会へ初進出したのであった。

#### 今も語られる“レジェンド”たち

さて、北ノ川中学校の野球とソフトボールを語る上で、伝説の卒業生がいる。往年の高校野球ファンなら知らない人はいないであろう。夏の甲子園でのサイクルヒット達成と言えば、まずはその人の名前が出てくるはずである。そう、土佐高校の玉川壽氏である。第57回全国高校野球選手権の2回戦、桂高校(京都府代表)戦で、当時史上二人目となる快挙を達成したのである。北ノ川中学校が生んだヒーローと言って良い。



当時の高校野球界をあっと言わせた玉川選手!

陸上競技でも伝説的活躍をした生徒がいる。1966年度卒業の福留明美さん。「確か、中学校女子100mの県記録に続いて四国記録も持ちこった」と当時の同級生が言う。それから約25年後の1991年度卒業生・宮脇朝美さんに至っては、100m・200mで県では無敵を誇り、四国大会、全国大会、国体と駆け抜け、その健脚を発揮した。朝美さんの活躍に周囲も動く。

春野陸上競技場からタータン(陸上競技場のトラックに敷かれているゴム製の舗装)を譲り受け、国道下に練習場を作ったのである。地区の人々はこれを「朝美ロード」と呼び、生徒たちの練習を温かく見守った。



国道下に今も残る「朝美ロード」

#### 生かされ続けた 小中一体型小規模校のメリット

基本は男子はソフトボール部、女子はバレー部で、そこにプラスされる形で陸上部があり、生徒たちは「掛け持ち」だった。次第に生徒数が減っても個人競技である陸上部は機能した。後年、その指導にあたった教員曰く「走ることにまぐれはなくて、目に見えて積み重ねが出るんです」と。そしてこう続けた。「小さな学校だから部活動の選択肢が限られるというデメリットはありますが、学校生活全てにおいて、一人一人に、手厚く、温かい目が行き届くというメリットがありましたし、それは教員と生徒の関係だけではなく、地域住民と学校の関係にも表れていました」それを象徴する風景があったという。運動会の最初と最後のラジオ体操の時、どこの学校でも保護者や地域住民がテントの下や後ろで、一緒に体操をするものであるが、北ノ川に赴任した年に、みんなが当然のようにグラウンドに出て、子どもたちと一体になってやる様子を見て、その教員は感動したそうだ。北ノ川中学校は、小学生との距離が近いのもそうであるが、この地域で暮らす全ての人々と、昔からずっと変わらず一体であったからなのであろう。

2022年3月、北ノ川中学校の歴史はその幕を閉じた。そこにはいつも子どもたちがいた。そこに学校があった。(おわり)



昭和20年代からの変遷

#### 町のうごき

(2月28日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	6,971	-10	男 2	8	15	19
女	7,514	-16	女 0	7	14	23
計	14,485	-26	計 2	15	29	42
世帯数	7,801	-17	(2月中の届出)			

窪川地域 10,355人 大正地域 1,990人 十和地域 2,140人